



## PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

### 決勝大会・第3日=最終日 結果のお知らせ

＜PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 決勝大会＞ 第3日=最終日

◇2015年5月7日(木) 天候：晴れのち時々曇り

◇岐阜・花の木GC (15-17歳の部男子7018ヤードほかカテゴリー別)

◇出場183人

＜決勝大会・第3日=最終日 概況＞

世界ジュニア(7月14～17日、米国・サンディエゴ)の日本代表24人が決まった。15-17歳の部男子は、前日首位の吉田泰基(香川・香川西高3年)が77と崩れたものの通算2アンダー214で初日から首位の完全優勝。3位にゴルフ部チームメートの西山大広(香川・香川西高3年)が入り、2011年に選抜大会が始まった後、初めて同一カテゴリーに同じ高校から2人が代表入りした。2位には72にまとめた高橋慧(新潟・開志学園高3年)が入った。同女子では、通算5オーバーで小倉ひまわり(東京・日出学園高2年)と吉田莉生(埼玉・埼玉栄高1年)が並び、プレーオフ1ホール目で小倉がバーディーを奪って優勝した。激戦となった3人目の代表には今綾奈(埼玉・埼玉平成高)が入り、初の日本代表を射止めた。13-14歳の部男子は小木野太優(大阪・豊中第十四中2年)が通算2オーバーで優勝、大石敦也(広島・井口台中2年)が2アンダー70で回り、2位に飛び込んだ。同女子は後藤未有(福岡・沖学園中3年)が通算1オーバーで優勝を果たした。

世界ジュニアゴルフ選手権日本代表は以下のとおり。

▽15-17歳の部【男子】

①吉田泰基(香川・香川西高3年) 214②高橋慧(新潟・開志学園高3年) 216③西山大広(香川・香川西高3年) 217

▽15-17歳の部【女子】

①小倉ひまわり(東京・日出学園2年) 221②吉田莉生(埼玉・埼玉栄高1年) 221③今綾奈(埼玉・埼玉平成高2年) 226

▽13-14歳の部【男子】

①小木野太優(大阪・豊中第十四中2年) 218②大石敦也(広島・井口台中2年) 223③栗原悠宇(埼玉・藤中2年) 228

▽13-14歳の部【女子】

①後藤未有(福岡・沖学園中3年) 217②園田結莉亜(大分・大分中2年) 222③横山もも(宮城・稲井中3年) 233

▽11-12歳の部【男子】

①森園大河(鹿児島・高山中1年) 147②上野麟欧(兵庫・兵庫教育大付中1年) 147

▽11-12歳の部【女子】

①平木亜莉奈(長野・御代田中1年) 142②長谷川せら(岐阜・稲羽中1年) 145

▽9-10歳の部【男子】

①吉田京介(大分・南部小5年) 150②黒田裕稀(兵庫・八条小5年) 151

▽9-10歳の部【女子】

①佐藤夏恋（千葉・白幡小5年）143②森愉生（岡山・老松小5年）156

▽7—8歳の部【男子】

①矢野仁貴（愛知・東山小3年）141②橋本拓英（三重・南が丘小3年）154

▽7—8歳の部【女子】①酒井理琴（大阪・西淡路小3年）158②松原柊亜（栃木・鹿沼東小3年）166

※同スコアはプレーオフで順位決定

### <決勝大会・第3日=最終日 ハイライト1>

◇15—17歳の部男子 ◇最終ラウンド ◇岐阜・花の木GC（7018ヤード、パー72）

吉田泰基と西山大広の香川西高3年生コンビが、5回目を迎える選抜大会で初めて同一カテゴリーで同一校からの日本代表が誕生した。第2ラウンドを終えて2人とも通算アンダーパーで楽々代表入りと思われたが「途中から全部ネガティブになった」

（吉田）「手がしびれてきてイメージが出なかった」（西山）と、プレッシャーからスコアを崩した。吉田77、西山78をたたき、辛くも「貯金」を使って日本代表入りした。チームメートで誕生日の違いで今年出場できない坂本将規が去年世界ジュニアに出場し、予選落ちを喫した。3位の西山は「泰基と一緒に坂本の借りを返したい」と意気込んだ。優勝した吉田は「メンタルをやられたけど上がり3ホール耐えたのを自信にしたい」と長い一日を振り返り「世界ジュニアでは4日間攻めきりたい」と話した。吉田は男子ツアーの「HEIWA・PGM チャンピオンシップ」（11月5～8日、千葉・総武CC総武C）への主催者推薦出場が決まった。



写真： 左／吉田泰基（15—17歳の部男子）、右／西山大広（15—17歳の部男子）、

写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5

### <決勝大会・第3日=最終日 ハイライト2>

◇15—17歳の部女子 ◇最終ラウンド ◇岐阜・花の木GC（6399ヤード、パー72）

小倉ひまわり（東京・日出学園高2年）が吉田莉生（埼玉・埼玉栄高1年）とのプレーオフを制し「優勝して世界ジュニアに行く」という今年の第1目標を達成した。通算5オーバーで並んだプレーオフ1ホール目。右カラーから1メートルに寄せた吉田に対し、小倉は7メートルのバーディーパット。「相手はパーを取ったので強気に打った」と、これを沈めてバーディーを奪い、2位から逆転勝ちした。昨年は決勝大会で蛭田みなみに完敗し、世界ジュニアでは同学年の畑岡奈紗が8位でシード権を獲得したが、自分は14位に終わった。「今年は優勝を狙えると思っています。去年より踏ん張るゴルフができるようになったと思います」と、雪辱を期す。



写真： 小倉ひまわり（15—17歳の部女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5

### <決勝大会・第3日=最終日 ハイライト3>

◇15—17歳の部女子 ◇最終ラウンド ◇岐阜・花の木GC（6399ヤード、パー72）

今綾奈（埼玉・埼玉平成高2年）が涙の代表入りを果たした。ホールアウトした時点で3位だったが、76とスコアを崩したことで日本代表は諦めて悔し涙を流していた。しかし、後続のスコアも伸びず、日本代表入りが決まった瞬間、うれし涙に変わった。「ダメだと思ったので。きょうは打ったところにいつもディボット跡があって、チャンスと思ったのがピンチになる繰り返しで疲れてしまった」という。17番で狙い通りのショットで1.5メートルにつけてバーディー。この1発が効いて、79をたたいた鍋島海良を突き放した。「うれしい。今よりレベルアップして臨みたい。課題は平常心。勝負どころで強気にいけないのが弱点

なので、いけるようにしたい」と、笑顔で抱負を話した。



写真：今綾奈（15—17歳の部女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5

#### <決勝大会・第3日=最終日 ハイライト4>

◇13—14歳の部男女 ◇最終ラウンド ◇岐阜・花の木GC（男子7018ヤード、女子6399ヤード、パー72）

男子は小木野太優（大阪・豊中第十四中2年）が通算2オーバー218、女子は後藤未有（福岡・沖学園中3年）が通算1オーバー217と、ともに2位に5打差をつけて、3日間トップを守って完全優勝した。小木野は「3日間、だいたい思い通りのプレーができた。ショットもパットも安定していた。落ち着いて回れて自信がついた」と笑顔を見せ「この大会のためにめっちゃ練習した。まだ実感がわからないけど、まためっちゃ練習して、世界で3位以内に入れるようにしたい」と意気込んだ。後藤は「全国レベルで初めての優勝なんですけど、今日の後半が悪かったので複雑です」とまず反省。「でも、これで課題が見つかった。パターをしっかりと練習して世界ジュニアで優勝したい。外国の選手は体が大きいと思うけど、威圧されないようにしたい」と、こちらも大きな目標を掲げた。



写真：上／小木野太優（13—14歳の部男子）

下／後藤未有（13—14歳の部女子）

写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5